



大沢利裕写真展 タンチョウ～北の大地に生きる～

ギャラリー アートグラフ 11月11日(金)～11月17日(木)

10:00～18:00 (土曜と最終日は17:00まで)

東京都中央区銀座2-9-14 写真弘社内

☎03・3538・6630



Toshihiro Osawa

1958年、新潟市生まれ。1983年、中央大学理工学部卒業。鯨類・野鳥写真家として活動。写真展に『ザトウクジラ～故郷への回遊～』(2010年)、『白鳥の飛来地・冬の飄湖』(2012年)、『座頭鯨～ケラマへの回遊～』(2014年)。日本写真作家協会会員。日本写真協会会員。

「現在の生息数は1300羽ほど。増えてはいますが、絶滅の危機を脱しているとはいえない状況です。少しでも保護に貢献できればと思っています」

また、大沢さんは前回、前々回と、写真展の来場者数に応じて関連する環境団体に寄付をしてきたが、今回もタンチョウ保護のため、同様の寄付を予定している。

「作品は四季折々にとらえた33点に絞った。気品を備えたタンチョウの豊かな表情を描いている。」

「大事にしているのは、主役がいなくても景色として美しいこと。自然の美を意識し、ここに来てくれたらいいなという場所を見つけて待ちます。光が美しい朝と夕方の撮影が多いですね」

「作品は四季折々にとらえた33点に絞った。気品を備えたタンチョウの豊かな表情を描いている。」

「5年半ほど前から撮影を始めました。北海道のタンチョウは留鳥なので、一年を通して通っています。5月にはヒナに会えるんですよ」

「大事にしているのは、主役がいなくても景色として美しいこと。自然の美を意識し、ここに来てくれたらいいなという場所を見つけて待ちます。光が美しい朝と夕方の撮影が多いですね」

タンチョウの未来を案じて

大沢さんはこれまでハクチョウやザトウクジラといった希少動物を撮影し、彼らの保護を目的とした写真展を開催してきた。今回はその第4弾で、北海道のタンチョウにカメラを向けている。